

# 英霊の記憶保存

黒田 賢治  
国立民族学博物館現代中東地域研究拠点 拠点研究員



イランに住むわたしの知人は、殉教者の生前の姿を後世に伝える活動をしている。国家のために命を捧げた人びとの死を風化させてはいけないという彼の活動を紹介します。

## イラン最大の共同墓地

イランの首都テヘラン市南部に、同国最大の共同墓地、ベヘシユテ・ザフラー墓地が広がる。イランのムスリムの場合、来世で楽園に入るため、聖者の仲介にあやかるうと、聖者廟の周辺に埋葬されることが一般的だ。しかし大都市では郊外に大型の共同墓地が造られる場合もある。ベヘシユテ・ザフラー墓地はその代表であり、東京ドーム約百十三個分の広大な敷地には、一九七〇年に開設されて以来百三十万人もの故人が埋葬されてきた。共同墓地というと日本の郊外にある霊園墓地のような寂しい雰囲気想像されるかもしれないが、それとは大きくかけ離れている。イスラームでは最後の審判まで死者の靈魂は現世に留まると考えられ、故人の命日や祝祭日、死者の魂が解放されると信じられる木曜日の午後から金曜日の午前中にかけて、人びとが墓参りに訪れる。なかでもペルシア語でシャヒードとよばれる殉教者が埋葬されている区画は、特に多くの墓参りに訪れる人びとで賑わう。



殉教者区画の墓標

## 英霊として祀られる殉教者

殉教者と言いつても、時代によって少しずつ意味が異なる。イランにおいては、歴史的には信仰のために命を捧げた人を意味してきた。しかし一九七〇年代後半のイラン革命期になると、革命運動のために命を捧げた人も、さらに革命直後には反体制派に殺害された人も含まれるようになった。革命後に樹立されたイラン・イスラーム共和国にとって、同体制の樹立は神聖な宗教的行為にあたるからだ。一九八〇年九月にイラン・イラク戦争が始まると、数十万の兵士・民間人の犠牲者が出た。彼らもまた殉教

者に数えられるようになった。さらに近年ではシリアやイラクの紛争に参戦したイランからの正規兵や義勇兵なども殉教者として扱われている。つまりイラン・イスラーム共和国において、殉教者とは神聖な国家のために命を捧げた英霊として理解されているのだ。

彼ら殉教者は、ただの死者ではない。一般のムスリムとは異なり、来世での至福が約束された特別な存在である。神に祝福された存在として、人びとに御利益をもたらすとも考えられている。そのため彼らの墓には、その親類・縁者だけでなく、願掛けをおこない、御利益を授かるうとする人びとの訪問も少なくない。胎児のうちに「殉教」を遂げた者は、穢れなき者として、特に人気が高い。さらに彼らはときに奇跡を起こす。教育熱心であった殉教者が、自分の子どもの成績表に署名をしにあらわれたという奇跡を筆者も耳にしたことがある。



殉教者との思い出について語るモハンマド氏



上: 毎週金曜日に朝食を振る舞う殉教者の母  
下: 殉教者を詣でる人びと



★ イラン、テヘラン

## 殉教者の記憶の保存

筆者の知人で五〇代半ばのモハンマド氏は、テヘラン市内の殉教者博物館に勤めている。彼の三人の兄弟はイラン・イラク戦争で殉教し、彼自身

も義勇兵として何度も前線に赴いた経験がある。彼は毎週金曜日の朝、ベヘシユテ・ザフラー墓地の殉教者区画を訪れることを習慣としており、筆者も近年の調査時には同行して共同墓地を訪れる。彼は毎週少しずつ別の殉教者区画を歩きまわり、墓参りに訪れる関係者を見つけては、生前の殉教者について聞きとり、ビデオカメラで撮影する。インタビュアーは出生地や家族、殉教者との関係といった決まったフォーマットに沿っておこなわれる。

大抵の場合、聞きとり相手は途中で生前を思い出し、感情の高ぶりを抑えられなくなる。彼はそれをひとつの頃合いとしており、涙にくれる関係者に「なぜ泣いているんだい。殉教者は生きているよ」と語りかけ、最後のくだりとして殉教者へのメッセージを聞きとる。撮影した動画は殉教者博物館でアーカイブとして保管されるのだ。

彼は十数年もほぼ毎週、こうした活動を続けてきた。平日にも、殉教者の遺族の家を訪れ取材することがある。殉教者の記憶を保存していくことに、とらわれているといつてもいいかもしれない。はじめて彼と共同墓地を訪れた帰りに、活動の動機について訊ねた。彼はハンドルを握る左手から指輪を外し、それが殉教した親友のものだと見せてくれた。多くの親友が殉教者となったにもかかわらず生き残った彼にとって、殉教者の存在を風化させないことが、彼自身が戦後を生きていくために必要なことなのだ。

モハンマド氏の活動は、殉教者の記憶を保存することである。そして筆者はその記憶の保存活動をビデオカメラで記録し始めた。いつか筆者が撮りためた彼の活動記録の映像をモハンマド氏の生きた軌跡として公開しようと考えているが、全編を公開できるのは、まだ先のことになるだろう。